

授業科目名	スポーツ・ヘルスプロモーション論概論
科目番号	01EK001
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春 AB 水 7,8
担当教員	菊 幸一, 高橋 義雄, 尾懸 貢, 山口 香, 久野 譜也, 水上 勝義, 橋本 佐由理
授業概要	スポーツとヘルスの相関的・相乗的な関係の基本理念とその哲学について、人間存在の生理的・心理的・社会的な特質との関係から概説する。また、現代社会における長寿化人生、ハイテク・情報化生活等の生活変容に注目しながら、人間存在の現代的課題を取り上げ、そこにおけるスポーツ文化享受による健康開発の可能性を環境世界、社会・文化生活、諸個人のライフスタイルやライフステージとの関係から概説し、エコロジーと共生を希求する 21 世紀世界におけるスポーツ・ヘルスプロモーションの相乗的な効果を上げるための政策課題について講義する。
備考	
授業形態	講義
学習目標	現代社会におけるスポーツプロモーションとヘルスプロモーションの理念を理解し、その相互の合理的な関係化による相乗的効果を上げることの重要性について学習する。
テキスト	
参考図書	1) 菊幸一他、スポーツプロモーション論, 明和出版
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回スポーツ・ヘルスプロモーション論オリエンテーション 担当:菊 幸一 第 2 回スポーツプロモーションの現代的課題と文献研究 (プロモーション ライフスタイル 人間の生の充実 グループワーキング) 担当:菊 幸一 第 3 回近代のスポーツイベント史と社会の関係 (メディア・イベント 商業化 社会問題 民営化 地域活性化) 担当:高橋 義雄 第 4 回日本のスポーツに求められるスポーツ・マネジメント (学校運動部 地域スポーツクラブ 一貫指導 競技スポーツ) 担当:尾懸 貢 第 5 回オリンピックにおいてメダル獲得世界トップ 5 を目指す JOC の戦略を検証する。 (情報戦略 コーチング ナショナルトレーニングセンター スポーツの理念) 担当:山口 香 第 6 回対人援助のためのヘルスコーチング I・II ~人々の健康行動理解のために~ (健康と病気 遺伝的気質 セルフケア行動 精神・身体・行動に出るストレスサイン ストレスマネジメント) 担当:橋本 佐由理 第 7 回スポーツ・ヘルスプロモーションと産業 I・II (雇用 職域化 高齢化 ベンチャー企業 NPO) 担当:久野 譜也 第 8 回スポーツとメンタルヘルス (スポーツ精神医学、うつ病、認知症、予防、アスリートのメンタルヘルス) 担当:水上 勝義 第 9 回身体活動・運動によるヘルスプロモーション (身体活動分野における施策や研究の最新動向) 担当:菊 幸一 第 10 回スポーツ・ヘルスプロモーションに係わる文献とその動向に関する討議 担当:菊 幸一</p>

研究室	東京地区 電話 03-3942-6391(菊) つくば地区 B616 電話 029-853-6379(菊)
オフィスアワー	木曜日 17時30分~18時20分
その他	
評価方法	1. 授業参加の積極性を評価する。、2. レポート, 発表あるいはテストの成績を評価する。

授業科目名	スポーツ・ヘルスプロモーション方法論
科目番号	01EK002
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 A 水 7,8
担当教員	高橋 義雄, 山口 香, 久野 譜也, 橋本 佐由理, 渡部 厚一
授業概要	スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な方法論について概説する。各自の研究計画の実現に向けて、研究デザインと科学的方法の客観性を担保する方法基礎論を理解し、文献や資料のオンライン検索の方法を学ぶ。また、社会調査法の一般的な手順を概説する。さらに、調査や実験データの分析法・検定法などの統計手法について、分析や検定結果の解釈法について文献を用いて理解したり、実際に統計解析ソフトを用いながら理解を深める。
備考	
授業形態	講義
学習目標	スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な研究方法について、学習する。
テキスト	1) 健康・スポーツ科学のためのやさしい統計学, 出村慎一、山次俊介, 杏林書院 2) 厚生労働省:臨床研究に関する倫理指針
参考図書	1) 山際勇一郎・田中敏, ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法, 教育出版 2) デズモンド・アレン・石村貞夫, すぐわかる統計用語, 東京図書 3) 山内光哉, 心理・教育のための分散分析と多重比較, サイエンス社 4) 統計ソフト SPSS の解説書が、多数出版されている
授業計画	授業内容 (キーワード) 第 1 回研究デザインのたて方 (テーマ設定、先行研究の整理の仕方) 担当:久野 譜也 第 2 回質的研究の方法 (質的研究とは何か、その研究手法と分析など) 担当:高橋 義雄 第 3 回文献検索とその引用 (文献検索や文献引用の方法を学習する) 担当:山口 香 第 4 回量的研究の方法 (量的研究とは何か、その研究手法と分析など) 担当:橋本 佐由理 第 5 回研究倫理の考え方と活用法 (個人情報管理、説明と同意の取得、有害事象、臨床研究、介入研究) 担当:渡部 厚一
研究室	東京地区 電話 03-3942-6391(菊) つくば地区 B616 電話 029-853-6379(菊)
オフィスアワー	木曜日 17 時 30 分~18 時 20 分
その他	
評価方法	1. 授業参加の積極性を評価する。、2. レポートあるいはテストの成績を評価する。

授業科目名	スポーツ健康研究方法論 I
科目番号	01EK003
単位数	1.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春 AB 秋 AB 随時
担当教員	菊 幸一, 尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 高橋 義雄, 橋本 佐由理, 山口 香, 柴田 愛
授業概要	スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究について担当教員の指導のもとに先行文献を参照しながら研究計画を立案し、研究テーマを設定し、研究テーマ届を提出する。
備考	平成 25 年度以降入学者用
授業形態	演習
学習目標	
テキスト	
参考図書	
授業計画	1~10 回 各教員 <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文・特定課題報告書の研究テーマ設定のための文献や資料の収集と検討 ・ 研究計画の立案と討議及び指導 ・ 研究テーマの設定と研究テーマ届の提出
研究室	東京地区 535 電話 03-3942-6391(菊)
オフィスアワー	木曜日 17 時 30 分~18 時 20 分 (菊)
その他	
評価方法	

授業科目名	スポーツ健康研究方法論 II
科目番号	01EK004
単位数	1.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 A 随時
担当教員	菊 幸一, 尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 高橋 義雄, 橋本 佐由理, 山口 香, 柴田 愛
授業概要	スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。そして、学位論文中間発表会に終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表を行う。
備考	平成 25 年度以降入学者用
授業形態	演習
学習目標	
テキスト	
参考図書	
授業計画	1~10 回 各教員 発表と討議及び指導 (1)~(10) ・研究の実施 資料データの解析 プレゼンテーション法 ・学位論文中間発表会の終日参加 ・学位論文中間発表会における発表
研究室	東京地区 535 電話 03-3942-6391(菊)
オフィスアワー	木曜日 17 時 30 分~18 時 20 分 (菊)
その他	
評価方法	

授業科目名	スポーツ健康研究方法論 III
科目番号	01EK005
単位数	1.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 C 随時
担当教員	菊 幸一, 尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 高橋 義雄, 橋本 佐由理, 山口 香, 柴田 愛, 渡部 厚一
授業概要	スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。そして、学位論文中間発表会に終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表を行う。
備考	平成 25 年度以降入学者用
授業形態	演習
学習目標	
テキスト	
参考図書	
授業計画	1~10 回 各教員 発表と討議及び指導 (1)~(10) ・研究の実施 資料データの解析 プレゼンテーション法 ・学位論文中間発表会の終日参加 ・学位論文中間発表会における発表
研究室	東京地区 535 電話 03-3942-6391(菊)
オフィスアワー	木曜日 17 時 30 分~18 時 20 分 (菊)
その他	
評価方法	

授業科目名	スポーツプロモーション論特講
科目番号	01EK101
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 AB 木 7,8
担当教員	菊 幸一
授業概要	スポーツの社会的需要・供給関係を軸にした社会的構造・機能モデルに基づいて、現代社会におけるスポーツのポジティブ/ネガティブな作用を分析し、そこからスポーツプロモーションの基本理念を概説する。また、プロフェッショナルスポーツの成立と発展過程をも視野に入れつつ、文化としてのスポーツプロモーションのあり方について講ずる。
備考	
授業形態	講義
学習目標	現代社会におけるスポーツプロモーションの基本理念を理解し、現代スポーツの社会的構造を分析するとともに、スポーツプロモーション政策の課題について学習する。
テキスト	1) 菊幸一ほか編, スポーツプロモーション論, 明和出版,2006. 2) 菊幸一ほか編, スポーツ政策論, 成文堂,2011.
参考図書	1) 菊幸一ほか編, 現代スポーツのパースペクティブ, 大修館書店,2006. 2) 井上俊・菊幸一編, よくわかるスポーツ文化論, ミネルヴァ書房,2012.
授業計画	<p>授業回数 授 業 内 容 (キーワード)</p> <p>第 1 回 1~2 回 スポーツプロモーション論とは何か (スポーツ 政治 政策 統治・保護 保障・支援) 担当:菊 幸一</p> <p>第 2 回 3~4 回 スポーツプロモーション政策におけるスポーツの捉え方と理念 (スポーツ政策 政治課題 生活課題 政策理念) 担当:菊 幸一</p> <p>第 3 回 5~6 回 スポーツ政策の変遷 (古代社会 階級社会 近代社会 現代) 担当:菊 幸一</p> <p>第 4 回 7~8 回 現代スポーツの構造と機能 (1)~スポーツの自由・政治統制・福祉・公共性~ (スポーツの自由 政治統制 福祉 公共性) 担当:菊 幸一</p> <p>第 5 回 9~10 回 現代スポーツの構造と機能 (2)~スポーツ需要・スポーツ供給・スポーツ体制~ (スポーツ需要 スポーツ供給 スポーツ体制) 担当:菊 幸一</p> <p>第 6 回 11~12 回 現代スポーツへの変動 (プロフェッショナリズム 近代スポーツ論 高度化) 担当:菊 幸一</p> <p>第 7 回 13~14 回 プロフェッショナルスポーツの成立 (文化的成熟 スポーツ思想 経済的制度化) 担当:菊 幸一</p> <p>第 8 回 15~16 回 プロフェッショナルスポーツの発展 (社会的条件 スポーツ環境 高度化スポーツの価値) 担当:菊 幸一</p> <p>第 9 回 17~18 回 プロフェッショナリズムとスポーツプロモーション (文化発展と公共的責任 職業と社会貢献) 担当:菊 幸一</p> <p>第 10 回 19~20 回 スポーツプロモーション論の課題 (ビジョン 討論 専門性) 担当:菊 幸一</p>
研究室	<p>東京地区 電話 03-3942-6391</p> <p>つくば地区 B616 電話 029-853-6379</p>

オフィスアワー	木曜日 17時30分~18時20分
その他	
評価方法	講義中の質疑応答や討論の内容 (30%) と最終レポート (70%) によって評価する。

授業科目名	スポーツプロモーション論演習 1
科目番号	01EK112
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 ABC 随時
担当教員	菊 幸一
授業概要	秋学期に集中で開講し、国レベル、地域レベル、団体レベルのスポーツプロモーション政策の具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその政策課題を相互比較し、それぞれの特徴と課題を明らかにする。こうして養われるスポーツプロモーション政策形成の具体的分析力を基礎に、それぞれの学生の現職経験に基づくスポーツプロモーション問題を取り上げ、そこに作用する政治課題のベクトルと生活課題のベクトルをシミュレーションすることによって政策課題を明確にし、政策立案のモデル化について演習する。
備考	
授業形態	講義
学習目標	スポーツプロモーションに関する各自の問題意識を反映するテーマについて明確な動機・目的につながる内容を主にメディアスポーツ、スペクテータースポーツ、スポーツの生産と消費の観点から演習し、スポーツプロモーションにおける政策立案モデルを描けるようにする。
テキスト	1) 菊幸一他編「現代スポーツのパスpekティブ」大修館書店,2006 年
参考図書	1) 山川雄巳「政策過程論」蒼林社出版,1980 年
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回スポーツプロモーションに対する各自のねらいと考え方、方法 担当:菊 幸一</p> <p>第 2 回スポーツの現代化とスポーツプロモーションとの関係 担当:菊 幸一</p> <p>第 3 回メディアスポーツ論 (1) (メディア、メッセージ、メタファー) 担当:菊 幸一</p> <p>第 4 回メディアスポーツ論 (2) (スポーツシンボリズム、神話作用) 担当:菊 幸一</p> <p>第 5 回メディアスポーツ論 (3) (メディアストーリー、メディアテキスト) 担当:菊 幸一</p> <p>第 6 回スペクテータースポーツ論 (1) (葬祭競技、祭典競技、奉納競技) 担当:菊 幸一</p> <p>第 7 回スペクテータースポーツ論 (2) (ゲームの保護、パトロネージ論) 担当:菊 幸一</p> <p>第 8 回スポーツの生産と消費 (1) (需給関係、市場、国家資本) 担当:菊 幸一</p> <p>第 9 回スポーツの生産と消費 (2) (公共性、文化、聖性と生産/消費) 担当:菊 幸一</p> <p>第 10 回各自の政策立案モデルの提示と議論 担当:菊 幸一</p>
研究室	東京地区 電話 03-3942-6391 つくば地区 B616 電話 029-853-6379
オフィスアワー	木曜日 17 時 30 分~18 時 20 分
その他	
評価方法	1. 分担レポートの発表, 課題をめぐる討議等に関する自己評価・相互評価を含めて, 総合的に評価する (80%)。2. スポーツプロモーションに関連する先行研究の検討状況を評価する (20%)。

授業科目名	スポーツプロモーション演習 2
科目番号	01EK113
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春 AB 木 7,8
担当教員	菊 幸一
授業概要	春学期に開講し、国レベル、地域レベル、団体レベルのスポーツプロモーション政策の具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその政策課題を相互比較し、それぞれの特徴と課題を明らかにする。こうして養われるスポーツプロモーション政策形成の具体的分析力を基礎に、それぞれの学生の現職経験に基づくスポーツプロモーション問題を取り上げ、そこに作用する政治課題のベクトルと生活課題のベクトルをシミュレーションすることによって政策課題を明確にし、政策立案のモデル化について演習する。
備考	
授業形態	演習
学習目標	グローバル化する世界のスポーツ状況を踏まえながら、これからのスポーツプロモーションにおけるビジョンと課題を検討し、諸外国のスポーツライフスタイルを通じた多様なスポーツライフスタイル構想から、スポーツプロモーションに関する具体的な問題意識を醸成する
テキスト	1) 菊 幸一他編, スポーツプロモーション論, 明和出版、2006. 2) 菊 幸一, 公共性の再構築からみた体育・スポーツのシステム再編に関する研究, 科学研究成果報告書、2005. 3) 佐伯聰夫他, スポーツ・イベントの展開と地域社会形成, 不昧堂出版,2000.
参考図書	1) 佐伯年詩雄ほか「生涯スポーツの振興方策に関する調査研究」日本体育協会スポーツ医・科学研究報告第 1 報~第 3 報、2000 年~2002 年
授業計画	授業内容 (キーワード) 第 1 回 1~2 回 スポーツプロモーション・ビジョンの検討 担当:菊 幸一 第 2 回 3~4 回 スポーツプロモーションの対象としてのスポーツ (近代スポーツを超えて) 担当:菊 幸一 第 3 回 5~6 回 スポーツビジョンづくりの視点と展開 担当:菊 幸一 第 4 回 7~8 回 諸外国におけるスポーツライフスタイル (1) (ニュージーランド、イギリス) 担当:菊 幸一 第 5 回 9~10 回 諸外国におけるスポーツライフスタイル (2) (ベルギー、ノルウェー) 担当:菊 幸一 第 6 回 11~12 回 スポーツ組織の現状分析と課題 (1) (NF の組織化における現状と課題) 担当:菊 幸一 第 7 回 13~14 回 スポーツ組織の現状分析と課題 (2) (レクリエーションおよび商業関連スポーツ団体) 担当:菊 幸一 第 8 回 15~16 回 多様なスポーツライフスタイルの構想 (1) (総合型クラブ、若者) 担当:菊 幸一 第 9 回 17~18 回 多様なスポーツライフスタイルの構想 (2) (バリアフリー、みるスポーツ) 担当:菊 幸一 第 10 回 19~20 回 スポーツプロモーション・ビジョンの課題 担当:菊 幸一
研究室	東京地区 電話 03-3942-6391 つくば地区 B616 電話 029-853-6379

オフィスアワー	木曜日 17時30分~18時20分
その他	
評価方法	1. 分担レポートの発表, 課題をめぐる討議等に関する自己評価・相互評価を含めて, 総合的に評価する (80%)。 ,2. 政策モデルに関するレポートを評価する (20%)。

授業科目名	スポーツプロモーション論実習
科目番号	01EK105
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	通年 随時
担当教員	菊 幸一
授業概要	学生の現職経験から導かれるスポーツプロモーション問題を、政策科学の視点から政策課題化し、それに基づく政策目標-政策対象-政策条件-政策計画のシミュレーションを行う。このシミュレーションモデルに基づき、政策展開に必要な環境的・物的・人的・文化的資源を査定し、当該政策実施における既存資源を評価し、過剰/不足資源を明確にする。さらに、明確化された不足資源の整備・開発を計画すると共に、政策展開の視点から見た有効資源のシステムをデザインし、具体的な政策モデルをシミュレーションする。
備考	
授業形態	実習・実験・実技
学習目標	学生の現職経験から導かれるスポーツプロモーション問題を政策科学の視点から課題化し、各自が対象とする具体的な組織や関連イベントにかかわるスポーツプロモーションの現状と課題について明らかにしたことを発表する。
テキスト	1) 佐伯聡夫他, スポーツイベントの展開と地域社会形成, 不昧堂出版,2000.
参考図書	1) 厨義弘他, 地域スポーツの創造と展開, 大修館書店,1990.
授業計画	<p>授業内容</p> <p>第 1 回 1~2 回 スポーツプロモーション実習の目的・方法・対象 担当:菊 幸一</p> <p>第 2 回 3~4 回 対象の選定と理由の検討 (1) 担当:菊 幸一</p> <p>第 3 回 5~6 回 対象の選定と理由の検討 (2) 担当:菊 幸一</p> <p>第 4 回 7~8 回 調査対象に対する実習計画の検討とシミュレーション (1) 担当:菊 幸一</p> <p>第 5 回 9~10 回 調査対象に対する実習計画の検討とシミュレーション (2) 担当:菊 幸一</p> <p>第 6 回 11~12 回 調査対象に対する実習計画の検討とシミュレーション (3) 担当:菊 幸一</p> <p>第 7 回 13~14 回 調査対象に対する実習計画の検討とシミュレーション (4) 担当:菊 幸一</p> <p>第 8 回 15~16 回 調査対象に対する実習計画の検討とシミュレーション (5) 担当:菊 幸一</p> <p>第 9 回実習成果の発表内容に関するグループワーク 担当:菊 幸一</p> <p>第 10 回実習成果の発表と議論 担当:菊 幸一</p>
研究室	東京地区 電話 03-3942-6391 つくば地区 B616 電話 029-853-6379
オフィスアワー	木曜日 17 時 30 分~18 時 20 分
その他	
評価方法	1. 分担レポートの内容や発表, 課題をめぐる討議等に関する自己評価・相互評価を含めて, 総括的に評価する (80%)。2. 学位論文作成の基礎資料として価値を評価する (20%)。

授業科目名	スポーツイベント論特講
科目番号	01EK106
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春 B 集中; 春 C 火 7,8
担当教員	高橋 義雄
授業概要	スポーツイベントの社会的需要・供給関係を軸にした社会的構造・機能モデルに基づいて、スポーツプロモーションにおけるスポーツイベントの理念と意義を概説する。これに基づいて、現代社会におけるスポーツイベントのポジティブ/ネガティブな地域形成作用を分析し、そこから現代社会におけるスポーツイベント政策の社会的役割を分析する。また、プロフェッショナルスポーツの発展過程を分析し、その社会及び地域形成に関わる意味と機能について概説する。
備考	6/6,6/13
授業形態	講義
学習目標	スポーツプロモーションにおけるスポーツイベントの理念と意義を理解するとともに、スポーツイベントと地域形成、現代社会におけるスポーツイベント政策、プロフェッショナルスポーツの発展過程などについて、その歴史社会的な意味や現代的機能を探究する。
テキスト	
参考図書	1) 菊 幸一:「近代プロ・スポーツ」の歴史社会学, 不昧堂出版 2) 佐伯聰夫ほか:スポーツ・イベントの展開と地域社会形成, 不昧堂出版 3) 松村和則ほか:メガ・スポーツイベントの社会学, 南窓社 4) 橋本純一ほか:現代メディアスポーツ論, 世界思想社 5) 小笠原正監修:導入対話によるスポーツ法学, 不磨書房 6) 原田宗彦ほか:スポーツ産業論第 4 版, 杏林書院
授業計画	授業内容 (キーワード) 第 1 回スポーツイベントとは (イベント, 概念) 担当:高橋 義雄 第 2 回スポーツイベントの理念と意義 (理念, 意義) 担当:高橋 義雄 第 3 回前近代とスポーツイベント (前近代) 担当:高橋 義雄 第 4 回近・現代とスポーツイベント (近代, 現代) 担当:高橋 義雄 第 5 回地域形成とスポーツイベント (1) (地域形成, 日本) 担当:高橋 義雄 第 6 回地域形成とスポーツイベント (2) (地域形成, ヨーロッパ) 担当:高橋 義雄 第 7 回経済からみたスポーツイベント (1) (経済, 戦後日本) 担当:高橋 義雄 第 8 回経済からみたスポーツイベント (2) (メディア, グローバル化) 担当:高橋 義雄 第 9 回スポーツ組織とスポーツイベント (1) (民間組織) 担当:高橋 義雄

	<p>第 10 回スポーツ組織とスポーツイベント (2) (官・産組織) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 11 回スポーツイベント政策の社会的役割 (1) (政策, 公共性, 効果) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 12 回スポーツイベント政策の社会的役割 (2) (政策, 公共性, 効果) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 13 回スポーツの制度化とイベント (1) (制度化, 理論的枠組み) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 14 回スポーツの制度化とイベント (2) (野球, 戦前, 日本) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 15 回プロ・スポーツの発展過程 (1) (サッカー, Jリーグ) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 16 回プロ・スポーツの発展過程 (2) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 17 回プロ・スポーツの発展過程 (3) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 18 回プロ・スポーツの発展過程 (4) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 19 回現代社会におけるスポーツイベント再考 (現代社会, 再考) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 20 回近未来の社会像とスポーツイベント (近未来, 総括) 担当:高橋 義雄</p>
研究室	<p>東京地区 電話 03-3942-6390</p> <p>つくば地区 B505 電話 029-853-2659</p>
オフィスアワー	水曜日 17 時 30 分~18 時 20 分
その他	
評価方法	<p>1. わが国におけるスポーツイベントの社会的役割についてレポートし, 発表する。 ,2. 講義内容の知識をもとに, 諸外国を含めた身近なスポーツイベントをさまざまな角度から分析し, ディスカッションする。</p>

授業科目名	スポーツイベント論演習 1
科目番号	01EK114
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春 ABC 随時
担当教員	高橋 義雄
授業概要	春学期に集中で開講し、国際レベル、国レベル、地域レベルのスポーツイベントの具体的な事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその構造的・機能的特性を相互比較し、それぞれのスポーツ及び地域プロモーションに関する政策課題について演習する。また、プロフェッショナルスポーツの具体的な事例から、スポーツイベントの展開過程における問題と課題について演習する。
備考	
授業形態	演習
学習目標	スポーツイベントにかかわる各自の研究関心に沿って、経営学分野特に、イノベーション研究を取り上げ、その課題を演習する。国際、国、地域、各レベルにおけるスポーツイベントの事例を取り上げ、その社会的な構造と機能を理解しながら課題を演習する。
テキスト	
参考図書	1) 原田宗彦ほか:「スポーツマーケティング」,大修館書店 2) 武藤泰明:「プロスポーツクラブのマネジメント」,東洋経済新報社 3) クレイトン・クリステンセンほか:「イノベーションへの解」,翔泳社 4) W・チャン・キムほか:「ブルー・オーシャン戦略」,ランダムハウス講談社 5) フランス・ヨハンソン:「メディチ・インパクト」,ランダムハウス講談社
授業計画	授業内容 (キーワード) 第 1 回学習のねらいと方法について (演習, ねらい, 方法 概念, 環境) 担当:高橋 義雄 第 2 回イノベーション研究 (1) (成長, 競合, 顧客) 担当:高橋 義雄 第 3 回イノベーション研究 (2) (コモディティティ) 担当:高橋 義雄 第 4 回イノベーション研究 (3) (戦略策定, 資源配分) 担当:高橋 義雄 第 5 回イノベーション研究 (4) (破壊的イノベーション、持続的イノベーション) 担当:高橋 義雄 第 6 回イノベーション研究 (5) 担当:高橋 義雄 第 7 回スポーツ界におけるイノベーション (1) (Jリーグ, プロ化, Bj リーグ, ストリートバスケット) 担当:高橋 義雄 第 8 回スポーツ界におけるイノベーション (2) (球界再編) 担当:高橋 義雄 第 9 回プロスポーツクラブのマネジメント (1) (法人格, 財務, 組織, マーケティング) 担当:高橋 義雄 第 10 回プロスポーツクラブのマネジメント (2) (無体財産) 担当:高橋 義雄
研究室	東京地区 電話 03-3942-6390 つくば地区 B505 電話 029-853-2659

オフィスアワー	水曜日 17時30分~18時20分
その他	
評価方法	1. 分担レポートの発表内容および授業を通じた議論の深まりについて評価する。 ,2. 先行研究に関する検討を通じた自らのテーマと方法論に関する明晰性について評価する。

授業科目名	スポーツイベント論演習 2
科目番号	01EK115
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 BC 水 7,8
担当教員	高橋 義雄
授業概要	秋学期に開講し、国際レベル、国レベル、地域レベルのスポーツイベントの具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその構造的・機能的特性を相互比較し、それぞれのスポーツ及び地域プロモーションに関する政策課題について演習する。また、プロフェッショナルスポーツの具体的事例から、スポーツイベントの展開過程における問題と課題について演習する。
備考	
授業形態	演習
学習目標	スポーツイベントにかかわる各自の研究関心に沿って、適切な研究方法を選択し、先行研究を取り上げて各自の研究について演習する。スポーツイベント論実習と平行して行い、実習の事例を取り上げ、その社会的な構造と機能を理解しながら課題を演習する。
テキスト	特になし
参考図書	1)M.E. ポーター:「競争の戦略」、ダイヤモンド社 2)P. コトラー、A.R. アンドリーセン:「非営利組織のマーケティング戦略」 3) 近藤隆雄:「サービスマネジメント入門」
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回学習のねらいと方法について (演習, ねらい, 方法) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 2 回研究対象の設定 (ブレインストーミング技法) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 3 回先行研究の分析 (KJ 法) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 4 回研究方法の検討と妥当性 (文献検索) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 5 回調査データの収集と分析 (フィールドワーク) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 6 回報告方法の演習と中間報告 (ヒアリング, アンケート調査、SPSS) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 7 回文献の抄読 (1) (競争戦略) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 8 回文献の抄読 (2) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 9 回文献の抄読 (3) (非営利組織) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 10 回文献の抄読 (4) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 11 回文献の抄読 (5) (サービスマネジメント) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 12 回文献の抄読 (6) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 13 回文献の抄読 (7) (イノベーション) 担当:高橋 義雄</p>

	<p>第 14 回文献の抄読 (8) 担当:高橋 義雄 第 15 回文献の抄読 (9) (ブルーオーシャン戦略) 担当:高橋 義雄 第 16 回文献の抄読 (10) 担当:高橋 義雄 第 17 回文献の抄読 (11) (スポーツマネジメント) 担当:高橋 義雄 第 18 回文献の抄読 (12) 担当:高橋 義雄 第 19 回文献の抄読 (13) (スポーツマーケティング) 担当:高橋 義雄 第 20 回文献の抄読 (14) 担当:高橋 義雄</p>
研究室	<p>東京地区 電話 03-3942-6390 つくば地区 B505 電話 029-853-2659</p>
オフィスアワー	水曜日 17 時 30 分 ~ 18 時 20 分
その他	
評価方法	<p>1. 分担レポートの発表内容および授業を通じた議論の深まりについて評価する。、2. 先行研究に関する検討を通じた自らのテーマと方法論に関する明晰性について評価する。</p>

授業科目名	スポーツイベント論実習
科目番号	01EK110
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	通年 随時
担当教員	高橋 義雄
授業概要	学生の現職経験から導かれるスポーツイベント問題を、スポーツプロモーションと地域形成の視点から政策課題化し、それに基づくスポーツイベント展開のマネジメントのシミュレーションを行う。このシミュレーションモデルに基づき、スポーツイベント編成に必要な諸エージェントと資源を査定し、当該イベント展開における関係エージェントと資源のシステム化をシミュレーションし、具体的なスポーツイベントの政策マネジメントモデルを企画・立案する。
備考	
授業形態	実習・実験・実技
学習目標	スポーツイベント論演習で学んだスポーツイベントにかかわる研究方法を採用し、その研究手法で指定されたスポーツイベントを調査する。フィールド調査、アンケート調査など個人または研究グループを結成し、調査プロジェクト実施方法を学ぶ。
テキスト	特になし
参考図書	特になし
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回実習対象の選定 担当:高橋 義雄</p> <p>第 2 回作業仮説の設定、調査方法の選定・準備 (作業仮説、先行研究、研究倫理) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 3 回調査実習 (1) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 4 回調査実習 (2) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 5 回調査実習 (3) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 6 回実査集計と報告書 (1) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 7 回実査集計と報告書 (2) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 8 回実査集計と報告書 (3) 担当:高橋 義雄</p> <p>第 9 回プレゼンテーション方法・準備 担当:高橋 義雄</p> <p>第 10 回報告会 担当:高橋 義雄</p>
研究室	東京地区 電話 03-3942-6390 つくば地区 B505 電話 029-853-2659
オフィスアワー	水曜日 17 時 30 分~18 時 20 分
その他	
評価方法	1. プロジェクトでの役割およびプロジェクト実施を通じた議論の深まりについて評価する。 2. 調査設計から報告に至る一連の作業について評価する。

授業科目名	スポーツプロモーション研究方法論
科目番号	01EK111
単位数	3.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	通年 随時
担当教員	菊 幸一, 高橋 義雄
授業概要	学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、政策科学的視点からその存立状況を構造的に分析することによって、専門研究にむけて課題化する。さらに、明確化された専門課題研究を現職経験状況にフィードバックし、実践的課題解決の可能性と限界を明らかにし、課題解決に対応する専門研究の研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究報告書の作成を導く。なお、研究方法論 3 単位の取得には、学位論文中間発表会への終日参加および発表が必須である。
備考	平成 24 年度以前入学者用
授業形態	演習
学習目標	スポーツプロモーションに関する研究方法論について、その視角、課題について理解し、実証的な視点から検討して修士論文あるいは特定課題研究報告書の作成を導く。
テキスト	
参考図書	
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回 1~2 回 スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた視角 (1) (公共性、政策、政治課題)</p> <p>第 2 回 3~4 回 スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた視角 (2) (私的自由、生活課題、共同体)</p> <p>第 3 回 5~6 回 スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた視角 (3) (文化、身体、健康、体力)</p> <p>第 4 回 7~8 回 スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた課題 (1) (労働・体力政策課題)</p> <p>第 5 回 9~10 回 スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた課題 (2) (文化・レジャー政策課題)</p> <p>第 6 回 11~12 回 実践的研究事例 (1) (量的データ、質的データ)</p> <p>第 7 回 13~14 回 実践的研究事例 (2) (エスノメソドロジー、モノグラフ記述)</p> <p>第 8 回 15~16 回 実践的研究事例 (3) (歴史社会学的、文化社会学的)</p> <p>第 9 回 17~18 回 実践的研究事例 (4) (経済学的、経営学的)</p> <p>第 10 回 19~20 回 実践的研究事例 (5) (問題発見型、課題解決型、提案・問題解決型)</p>
研究室	東京地区 電話 03-3942-6391 つくば地区 E616 電話 029-853-6379
オフィスアワー	木曜日 16 時~17 時
その他	
評価方法	1. 修士論文あるいは特定課題研究報告書における研究方法論としての充実度を評価する (50%)。、2. 学位論文中間発表会への参加状況 (終日参加) とそこでの発表ならびに質疑応答の内容を評価する (50%)。

授業科目名	スポーツプロモーション研究方法論 IV
科目番号	01EK116
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 ABC 随時
担当教員	菊 幸一, 高橋 義雄
授業概要	学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、政策科学的視点からその存立状況を構造的に分析することによって、専門研究にむけて課題化する。さらに明確化された専門課題解決の可能性と限界を明らかにし、問題解決に対応する専門研究の研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究報告書を作成する。
備考	平成 25 年度以降入学者用
授業形態	演習
学習目標	スポーツプロモーションに関する研究方法論について、その視角、課題について理解し、実証的な視点から検討して修士論文あるいは特定課題研究報告書を作成する。
テキスト	
参考図書	
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた視角 (1) (公共性、政策、政治課題)</p> <p>第 2 回スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた視角 (2) (私的自由、生活課題、共同体)</p> <p>第 3 回スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた視角 (3) (文化、身体、健康、体力)</p> <p>第 4 回スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた課題 (1) (労働・体力政策課題)</p> <p>第 5 回スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた課題 (2) (文化・レジャー政策課題)</p> <p>第 6 回実践的研究事例 (1) (量的データ、質的データ)</p> <p>第 7 回実践的研究事例 (2) (エスノメソドロジー、モノグラフ記述)</p> <p>第 8 回実践的研究事例 (3) (歴史社会学的、文化社会学的)</p> <p>第 9 回実践的研究事例 (4) (経済学的、経営学的)</p> <p>第 10 回実践的研究事例 (5) (問題発見型、課題解決型、提案・問題解決型)</p>
研究室	東京地区 535 電話 03-3942-6391(菊) 東京地区 533 電話 03-3942-6390(高橋)
オフィスアワー	木曜日 16 時~17 時
その他	
評価方法	1. 修士論文あるいは特定課題研究報告書における研究方法論としての充実度を評価する。

授業科目名	スポーツプロモーション研究方法論 V
科目番号	01EK117
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春 ABC 随時
担当教員	菊 幸一, 高橋 義雄
授業概要	学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、政策科学的視点からその存立状況を構造的に分析することによって、専門研究にむけて課題化する。さらに明確化された専門課題解決の可能性と限界を明らかにし、問題解決に対応する専門研究の研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究報告書を作成する。
備考	平成 25 年度以降入学者用
授業形態	演習
学習目標	スポーツプロモーションに関する研究方法論について、その視角、課題について理解し、実証的な視点から検討して修士論文あるいは特定課題研究報告書を作成する。
テキスト	
参考図書	
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた視角 (1) (公共性、政策、政治課題)</p> <p>第 2 回スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた視角 (2) (私的自由、生活課題、共同体)</p> <p>第 3 回スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた視角 (3) (文化、身体、健康、体力)</p> <p>第 4 回スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた課題 (1) (労働・体力政策課題)</p> <p>第 5 回スポーツプロモーション研究の論文作成に向けた課題 (2) (文化・レジャー政策課題)</p> <p>第 6 回実践的研究事例 (1) (量的データ、質的データ)</p> <p>第 7 回実践的研究事例 (2) (エスノメソドロジー、モノグラフ記述)</p> <p>第 8 回実践的研究事例 (3) (歴史社会学的、文化社会学的)</p> <p>第 9 回実践的研究事例 (4) (経済学的、経営学的)</p> <p>第 10 回実践的研究事例 (5) (問題発見型、課題解決型、提案・問題解決型)</p>
研究室	<p>東京地区 535 電話 03-3942-6391(菊)</p> <p>東京地区 533 電話 03-3942-6390(高橋)</p>
オフィスアワー	木曜日 16 時~17 時
その他	
評価方法	1. 修士論文あるいは特定課題研究報告書における研究方法論としての充実度を評価する。

授業科目名	スポーツマネジメント論特講
科目番号	01EK201
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 B 火 7,8; 秋 AC 集中
担当教員	尾縣 貢
授業概要	地域のスポーツクラブと学校の運動部の共存共栄がわが国のスポーツの更なる発展には求められている。マネジメントの面から、それぞれの活動における問題点を明確にし、今後、取り組むべき課題とそれらを解決するための具体的な取り組みについて概説する。また、ジュニアからシニアにいたるまでのコーチング・トレーニングのマネジメントについても講義する。
備考	11/1,1/9
授業形態	講義
学習目標	地域のスポーツクラブと学校の運動部、それぞれの活動における問題点を明確にし、今後、取り組むべき課題とそれらを解決するための具体的な取り組みについて概説する。また、ジュニアからシニアにいたるまでのコーチング・トレーニングのマネジメントについても講義する。
テキスト	特になし。必要な資料を配布する。
参考図書	1) 山下秋二 他、図解スポーツマネジメント、大修館書店 2) 谷塚哲、地域スポーツクラブのマネジメント -クラブ設立から運営マニュアルまで-、カンゼン 3) 尾縣貢・青山清英監訳、競技力向上のトレーニング戦略、大修館書店
授業計画	授業内容 (キーワード) 第 1 回 1~2 回 スポーツマネジメントで学ぶこと (競技団体 学校 地域 JOC 日本体育協会) 担当:尾縣 貢 第 2 回 3~4 回 現代スポーツにおける諸問題 (早期専門化 スポーツ離れ 競技人口減少 二極化) 担当:尾縣 貢 第 3 回 5~6 回 国策としてのスポーツ (スポーツ立国戦略、スポーツ基本法 ゴールドプラン) 担当:尾縣 貢 第 4 回 7~8 回 学校体育から生涯スポーツへ (学習指導要領 運動部 授業 海外事情) 担当:尾縣 貢 第 5 回 9~10 回 地域スポーツクラブにおけるマネジメント (指導者育成 施設 プログラム イベント) 担当:尾縣 貢 第 6 回 11~12 回 タレント発掘からトップアスリート強化 (競技者育成プログラム 一貫指導 英才教育) 担当:尾縣 貢 第 7 回 13~14 回 トレーニングのマネジメント I (ピリオダイゼーション コンディショニング) 担当:尾縣 貢 第 8 回 15~16 回 トレーニングのマネジメント II (フィジカル メンタル テクニック) 担当:尾縣 貢 第 9 回 17~18 回 競技会のマネジメント (競技役員 プログラム メディア 集客) 担当:尾縣 貢 第 10 回 19~20 回 競技団体におけるマネジメント (スポンサー獲得 国際競技団体 委員会活動) 担当:尾縣 貢
研究室	東京地区 534 電話 03-3942-6450 つくば地区 A402 電話 029-853-2674

オフィスアワー	火曜日 17 時 00 分~20 時 30 分
その他	
評価方法	1. 授業参加の積極性を評価する。 ,2. レポートを評価する。

授業科目名	スポーツマネジメント論演習 1
科目番号	01EK212
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 ABC 随時
担当教員	尾縣 貢
授業概要	秋学期に集中で開講し、スポーツ基本法、スポーツ立国戦略、学習指導要領等からわが国のスポーツが進むべき方向を考えるとともに、実際の地域スポーツクラブおよび学校運動部の活動状況、そしてそこに内在する問題点を把握させ、それぞれが共存共栄し、スポーツ文化を形成する上での礎となるための方策についてスポーツマネジメントの観点から検討していく。
備考	
授業形態	演習
学習目標	スポーツマネジメントに関する解決すべき研究課題を設定し、文献研究を行ったうえで、各自の研究のデザインを作成する。
テキスト	必要な資料を配布する。
参考図書	
授業計画	<p>授業内容</p> <p>第 1 回オリエンテーション 担当:尾縣 貢</p> <p>第 2 回研究課題の設定 担当:尾縣 貢</p> <p>第 3 回文献研究 (1) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 4 回文献研究 (2) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 5 回文献研究 (3) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 6 回研究デザインの作成 (1) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 7 回研究デザインの作成 (2) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 8 回研究デザインの作成 (3) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 9 回プレゼンテーション 担当:尾縣 貢</p> <p>第 10 回研究デザインの作成 (4) 担当:尾縣 貢</p>
研究室	<p>東京地区 534 電話 03-3942-6450</p> <p>つくば地区 A402 電話 029-853-2674</p>
オフィスアワー	土曜日 17 時~18 時 30 分
その他	
評価方法	1. 出席状況 (主体的関与) および課題レポートによって総合的に評価する。

授業科目名	スポーツマネジメント論演習 2
科目番号	01EK213
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春 AB 火 7,8
担当教員	尾縣 貢
授業概要	春学期に開講し、スポーツ基本法、スポーツ立国戦略、学習指導要領等からわが国のスポーツが進むべき方向を考えるとともに、実際の地域スポーツクラブおよび学校運動部の活動状況、そしてそこに内在する問題点を把握させ、それぞれが共存共栄し、スポーツ文化を形成する上での礎となるための方策についてスポーツマネジメントの観点から検討していく。
備考	
授業形態	演習
学習目標	スポーツマネジメントに関する研究を取り上げ、それらを抄読することにより、今後解決すべき課題を明確にしたうえで、各々の課題を解決するための研究的取り組みについて理解する。
テキスト	必要な資料を配布する。
参考図書	
授業計画	<p>授業内容</p> <p>第 1 回 研究法の紹介 (1) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 2 回 研究法の紹介 (2) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 3 回 研究法の紹介 (3) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 4 回 文献の抄読 (1) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 5 回 文献の抄読 (2) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 6 回 文献の抄読 (3) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 7 回 文献の抄読 (4) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 8 回 文献の抄読 (5) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 9 回 文献の抄読 (6) 担当:尾縣 貢</p> <p>第 10 回 まとめと評価 担当:尾縣 貢</p>
研究室	東京地区 534 電話 03-3942-6450 つくば地区 A402 電話 029-853-2674
オフィスアワー	土曜日 17 時 ~ 18 時 30 分
その他	
評価方法	1. 出席状況 (主体的関与) および課題レポートによって総合的に評価する。

授業科目名	スポーツマネジメント論実習
科目番号	01EK205
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	通年 随時
担当教員	尾縣 貢
授業概要	学生の現職経験や体験から導かれる地域のスポーツクラブと学校の運動部における具体的成功例や失敗例を分析することで、マネジメント上の問題点を明らかにし、解決すべき課題をあげる。そして、現職経験等から見た課題解決のために必要な方策を考案し、その方策の有用性に関して議論を繰り返すことで、包括的なマネジメント戦略を構築していく。
備考	
授業形態	実習・実験・実技
学習目標	学生の現職経験や体験から導かれる地域のスポーツクラブと学校の運動部における具体的成功例や失敗例を分析することで、マネジメント上の問題点を明らかにし、解決すべき課題をあげる。そして、現職経験等から見た課題解決のために必要な方策を考案し、その方策の有用性に関して議論を繰り返すことで、包括的なマネジメント戦略を構築していく。
テキスト	特になし。必要に応じて資料を配布する。
参考図書	特になし。
授業計画	授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習: 実習オリエンテーション実習課題の設定 担当:尾縣 貢 ・集中実習: 学校運動部活動、地域スポーツクラブの活動、競技大会などを視察し、現状を把握するとともに、マネジメントにおける課題点を明確にしたうえで、解決策を考える。 担当:尾縣 貢 ・事後学習: レポートをまとめて、発表をする。 担当:尾縣 貢
研究室	東京地区 534 電話 03-3942-6450 つくば地区 A402 電話 029-853-2674
オフィスアワー	火曜日 17 時 ~ 20 時 30 分
その他	
評価方法	1. 授業参加の積極性を評価する。 ,2. プレゼン, 報告書を評価する。

授業科目名	高度競技マネジメント論特講
科目番号	01EK206
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春 AB 金 7,8
担当教員	山口 香
授業概要	国際競技力開発に関する世界的状況を概括し、我が国における問題と課題を明らかにする。そして、国際競技力開発の仕組みを「発掘・育成・強化・支援」の各開発段階における物的・人的・文化的資源のシステム化として概説し、システム編成に必要な資源評価・査定・開発とそのシステムマネジメントの課題と方法論について講義する。
備考	
授業形態	講義
学習目標	国際競技力開発の理念としてのスポーツ・プロフェッショナリズムの重要性およびシステム編成に必要な資源評価・査定・開発とそのシステムマネジメントの課題と方法論について理解する
テキスト	特になし。必要に応じて資料を配布する。
参考図書	1) ジェラルド・ウリエ, ジャック・クルボアジェ著「フランスサッカーのプロフェッショナル・コーチング」(大修館書店) 2) 河野一郎監修・勝田 隆著「知的コーチングのすすめ」(大修館書店)
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回ガイダンス 担当:山口 香</p> <p>第 2 回総合戦略 (マネジメント, ストラテジー) 担当:山口 香</p> <p>第 3 回情報戦略 (JISS) 担当:山口 香</p> <p>第 4 回組織のあり方 (組織構造, 機能) 担当:山口 香</p> <p>第 5 回 Team behind the team (医科学サポート, 栄養, ドーピング) 担当:山口 香</p> <p>第 6 回リスクマネジメント (国際大会, オリンピック) 担当:山口 香</p> <p>第 7 回大会のマネジメント (役割分担, 情報収集・管理) 担当:山口 香</p> <p>第 8 回メディアマネジメント (メディアコントロール) 担当:山口 香</p> <p>第 9 回ナショナルトレーニングセンター (1) (合宿, 国際交流) 担当:山口 香</p> <p>第 10 回ナショナルトレーニングセンター (2) (エリートスクール, 指導者養成) 担当:山口 香</p> <p>第 11 回タレント発掘と一貫指導 (1) (タレント, 地域の取り組み) 担当:山口 香</p> <p>第 12 回タレント発掘と一貫指導 (2) (指導理念の共有, 種目転向) 担当:山口 香</p> <p>第 13 回コーチングとは (コーチング, 理念) 担当:山口 香</p>

	<p>第 14 回一流プレイヤーの特徴 (理解, 信頼関係) 担当:山口 香</p> <p>第 15 回選手に対するマネジメント (管理, 教育) 担当:山口 香</p> <p>第 16 回モチベーション・コントロール (目標設定, 選手選考) 担当:山口 香</p> <p>第 17 回コーチに必要な資質 (公平性, 伝達能力, 探究心, ネットワーク) 担当:山口 香</p> <p>第 18 回コミュニケーションスキル (ネットワーク, 社交性, 国際性) 担当:山口 香</p> <p>第 19 回キャリア教育の重要性 (セカンドキャリア) 担当:山口 香</p> <p>第 20 回テスト 担当:山口 香</p>
研究室	<p>東京地区 電話 03-3942-6451</p> <p>つくば地区 B405 電話 029-853-2687</p>
オフィスアワー	木曜日 17 時半~18 時 20 分
その他	
評価方法	出席及びレポート・テストの総合評価

授業科目名	高度競技マネジメント論演習 1
科目番号	01EK214
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春 ABC 随時
担当教員	山口 香
授業概要	春学期に集中で開講し、国際競技大会において競技者及びチームの最高パフォーマンスを発揮させるために必要なマネジメントの実践的な課題を、国際・国内スポーツ組織論、情報戦略論、競技パフォーマンス分析論、競技者及びチームマネジメント論、メディアマネジメント論、スポンサー対応論等の総合的戦略として理解させ、オリンピック競技大会やワールドカップ等の具体的事例に対応する国際競技スポーツマネジメントのシミュレーションを行う。
備考	
授業形態	演習
学習目標	オリンピックにおいて競技者の最高パフォーマンスを発揮させるために必要なマネジメントの実践的な課題を、国際・国内スポーツ組織論、情報戦略論、競技パフォーマンス分析論、競技者及びチームマネジメント論、メディアマネジメント論等の総合的戦略として理解する。
テキスト	特になし。必要な資料をその都度配布する。
参考図書	
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回オリエンテーション 担当:山口 香</p> <p>第 2 回オリンピックにおける強化計画 (ジュニア, シニア, 合宿, スケジュール) 担当:山口 香</p> <p>第 3 回強化計画に関するの発表と討議 担当:山口 香</p> <p>第 4 回オリンピックにおける情報戦略 (情報収集, 現地視察, サポート) 担当:山口 香</p> <p>第 5 回情報戦略に関するの発表と討議 担当:山口 香</p> <p>第 6 回オリンピックの選手選考 (選考会, ランキング, 実績の評価) 担当:山口 香</p> <p>第 7 回選手選考に関するの発表と討議 担当:山口 香</p> <p>第 8 回オリンピックにおける大会のマネジメント (選手村, 村外との連携, 情報管理) 担当:山口 香</p> <p>第 9 回大会のマネジメントにおける発表と討議 担当:山口 香</p> <p>第 10 回まとめ 担当:山口 香</p>
研究室	東京地区 電話 03-3942-6451 つくば地区 B405 電話 029-853-2687
オフィスアワー	水曜日 17 時 30 分~18 時 20 分
その他	
評価方法	平常点およびレポートあるいはテストの成績を総合評価する。

授業科目名	高度競技マネジメント論演習 2
科目番号	01EK215
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 AB 金 7,8
担当教員	山口 香
授業概要	秋学期に開講し, 国際競技大会において競技者及びチームの最高パフォーマンスを発揮させるために必要なマネジメントの実践的な課題を, 国際・国内スポーツ組織論, 情報戦略論, 競技パフォーマンス分析論, 競技者及びチームマネジメント論, メディアマネジメント論, スポンサー対応論等の総合的戦略として理解させ, オリンピック競技大会やワールドカップ等の具体的事例に対応する国際競技スポーツマネジメントのシミュレーションを行う.
備考	
授業形態	演習
学習目標	国際競技大会において競技者の最高パフォーマンスを発揮させるために必要なコーチングの実践的な課題を、国際・国内スポーツ組織論、情報戦略論、競技パフォーマンス分析論、競技者及びチームマネジメント論等の総合的戦略として理解する。
テキスト	必要な資料をその都度配布する。
参考図書	
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回オリエンテーション 担当:山口 香</p> <p>第 2 回目標設定とモチベーション (目標設定の意義, 評価と分析) 担当:山口 香</p> <p>第 3 回目標設定について発表と討議 担当:山口 香</p> <p>第 4 回コーチの資質 (コミュニケーション能力, 技術分析, 伝達能力) 担当:山口 香</p> <p>第 5 回コーチの資質について発表と討議 担当:山口 香</p> <p>第 6 回大会におけるコーチング (情報管理, 声かけ, 対応力) 担当:山口 香</p> <p>第 7 回大会におけるコーチングについて発表と討議 担当:山口 香</p> <p>第 8 回ネットワークと情報収集 (情報収集力, ネットワーク, 国際性) 担当:山口 香</p> <p>第 9 回ネットワークと情報収集について発表と討議 担当:山口 香</p> <p>第 10 回まとめ 担当:山口 香</p>
研究室	東京地区 電話 03-3942-6451 つくば地区 B405 電話 029-853-2687
オフィスアワー	水曜日 17 時 30 分~18 時 20 分
その他	
評価方法	平常点およびレポートあるいはテストの成績を総合評価する。

授業科目名	高度競技マネジメント論実習
科目番号	01EK210
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	通年 随時
担当教員	山口 香
授業概要	学生の現職経験から導かれる国際競技大会における具体的な成功事例や失敗事例等を競技力開発と総合戦略の視点から捉え直し、そこにおける国際競技マネジメントの具体的な課題を明らかにする。そして、現職経験との関係から見た課題解決のために必要な資源評価・査定・開発及びシステム編成のモデルをデザインし、そのモデルと現職経験の比較検討を通して、具体的な課題解決に向けたマネジメント戦略をシミュレーションする。
備考	
授業形態	実習・実験・実技
学習目標	学生の現職経験から導かれる国際競技大会における具体的な成功事例や失敗事例等を競技力開発と総合戦略の視点から捉え直し、そこにおける国際競技マネジメントの具体的な課題を明らかにする。そして、現職経験との関係からみた課題解決のために必要な資源評価・査定・開発及びシステム編成のモデルをデザインし、そのモデルと現職経験の比較検討を通して、具体的な課題解決に向けたマネジメント戦略をシミュレーションすることを目標とする。
テキスト	
参考図書	
授業計画	<p>授業内容</p> <p>(キーワード)</p> <p>第 1 回ディスカッション (1)</p> <p>(プラクティカルマネジメント) 担当:山口 香</p> <p>第 2 回ディスカッション (2)</p> <p>(ケーススタディ, プレゼンテーション) 担当:山口 香</p> <p>第 3 回ディスカッション (3)</p> <p>(フィールド・ワーク) 担当:山口 香</p> <p>第 4 回ディスカッション (4) 担当:山口 香</p> <p>第 5 回ディスカッション (5) 担当:山口 香</p> <p>第 6 回ディスカッション (6) 担当:山口 香</p> <p>第 7 回ディスカッション (7) 担当:山口 香</p> <p>第 8 回ディスカッション (8) 担当:山口 香</p> <p>第 9 回ディスカッション (9) 担当:山口 香</p> <p>第 10 回ディスカッション (10) 担当:山口 香</p> <p>第 11 回ディスカッション (11) 担当:山口 香</p> <p>第 12 回ディスカッション (12) 担当:山口 香</p> <p>第 13 回ディスカッション (13) 担当:山口 香</p> <p>第 14 回ディスカッション (14) 担当:山口 香</p> <p>第 15 回ディスカッション (15) 担当:山口 香</p> <p>第 16 回ディスカッション (16) 担当:山口 香</p> <p>第 17 回ディスカッション (17) 担当:山口 香</p> <p>第 18 回ディスカッション (18) 担当:山口 香</p>

	第 19 回ディスカッション (19) 担当:山口 香 第 20 回ディスカッション (20) 担当:山口 香
研究室	東京地区 電話 03-3942-6451 つくば地区 B405 電話 029-853-2687
オフィスアワー	木曜日 17 時 30 分~18 時 20 分
その他	
評価方法	1. 実際に体験した事例を各自がまとめ、プレゼンテーションを行う。内容とプレゼンテーション能力を評価する。

授業科目名	スポーツマネジメント研究方法論
科目番号	01EK211
単位数	3.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	通年 随時
担当教員	尾縣 貢, 山口 香
授業概要	学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、経営科学の視点からその存立状況を系統的に分析することによって、専門研究の課題に洗練する。さらに、明確化された専門課題研究を現職経験状況にフィードバックし、実践的課題解決の可能性と限界を明らかにし、課題解決に対応する専門研究の研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究報告書の作成を導く。なお、研究方法論 3 単位の取得には、学位論文中間発表会への終日参加および発表が必須である。
備考	平成 24 年度以前入学者用
授業形態	演習
学習目標	現職としてのフィールドを最大限に生かした上での課題意識を明確にし、それらを合理的・客観的に解決するための科学的技法について学習するとともに、成果をまとめあげて公表するまでの一連のプロセスを習得し、研究的視野と技法を身につけた高度専門職としての能力を高める。
テキスト	1) David H. Clarke, Research Processes in Physical Education, Recreation, and Health, Prentice Hall 2) Jerry R. Thomas, Introduction to Research in Health, PE, Recreation and Dance, Human Kinetics
参考図書	
授業計画	授業内容 第 1 回 1~2 回 研究活動としての特質 第 2 回 3~4 回 研究の進め方 第 3 回 5~6 回 文献の調査と収集 第 4 回 7~8 回 定量的研究 第 5 回 9~10 回 定性的研究 第 6 回 11~12 回 課題設定 第 7 回 13~14 回 データの収集 第 8 回 15~16 回 データの整理 第 9 回 17~18 回 考察のしかた 第 10 回 19~20 回 研究のまとめかた 研究発表の方法
研究室	東京地区 534 電話 03-3942-6456(尾縣) 東京地区 538 電話 03-3942-6451(山口)
オフィスアワー	火曜日 17 時~
その他	
評価方法	1. 授業参加の積極性を評価する。、2. レポートあるいはテストの成績を評価する。、3. 学位論文中間発表会への参加状況(終日参加)とそこでの発表ならびに質疑応答の内容を評価する(50%)。

授業科目名	スポーツマネジメント研究方法論 IV
科目番号	01EK216
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 ABC 随時
担当教員	尾縣 貢, 山口 香
授業概要	スポーツマネジメントに関する学生の実践的研究課題に対応しながら、実践的課題解決に向けた研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究の作成を導く。
備考	平成 25 年度以降入学者用
授業形態	演習
学習目標	現職としてのフィールドを最大限に生かした上での課題意識を明確にし、それらを合理的・客観的に解決するための科学的技法について学習するとともに、成果をまとめあげて公表するまでの一連のプロセスを習得し、研究的視野と技法を身につけた高度専門職としての能力を高める。
テキスト	1)David H. Clarke、Research Processes in Physical Education, Recreation, and Health、Prentice Hall 2)Jerry R. Thomas、Introduction to Research in Health, PE, Recreation and Dance, Human Kinetics
参考図書	
授業計画	授業内容 第 1 回 1~2 回 研究活動としての特質 第 2 回 3~4 回 研究の進め方 第 3 回 5~6 回 文献の調査と収集 第 4 回 7~8 回 定量的研究 第 5 回 9~10 回 定性的研究 第 6 回 11~12 回 課題設定 第 7 回 13~14 回 データの収集 第 8 回 15~16 回 データの整理 第 9 回 17~18 回 考察のしかた 第 10 回 19~20 回 研究のまとめかた 研究発表の方法
研究室	東京地区 534 電話 03-3942-6456(尾縣) 東京地区 538 電話 03-3942-6451(山口)
オフィスアワー	火曜日 17 時~
その他	
評価方法	1. 授業参加の積極性を評価する。、2. レポートあるいはテストの成績を評価する。、3. 学位論文中間発表会への参加状況 (終日参加) とそこでの発表ならびに質疑応答の内容を評価する (50%)。

授業科目名	スポーツマネジメント研究方法論 V
科目番号	01EK217
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春 ABC 随時
担当教員	尾縣 貢, 山口 香
授業概要	スポーツマネジメントに関する学生の実践的研究課題に対応しながら、実践的課題解決に向けた研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究の作成を導く。
備考	平成 25 年度以降入学者用
授業形態	演習
学習目標	現職としてのフィールドを最大限に生かした上での課題意識を明確にし、それらを合理的・客観的に解決するための科学的技法について学習するとともに、成果をまとめあげて公表するまでの一連のプロセスを習得し、研究的視野と技法を身につけた高度専門職としての能力を高める。
テキスト	1)David H. Clarke、Research Processes in Physical Education, Recreation, and Health、Prentice Hall 2)Jerry R. Thomas、Introduction to Research in Health, PE, Recreation and Dance, Human Kinetics
参考図書	
授業計画	授業内容 第 1 回 1~2 回 研究活動としての特質 第 2 回 3~4 回 研究の進め方 第 3 回 5~6 回 文献の調査と収集 第 4 回 7~8 回 定量的研究 第 5 回 9~10 回 定性的研究 第 6 回 11~12 回 課題設定 第 7 回 13~14 回 データの収集 第 8 回 15~16 回 データの整理 第 9 回 17~18 回 考察のしかた 第 10 回 19~20 回 研究のまとめかた 研究発表の方法
研究室	東京地区 534 電話 03-3942-6456(尾縣) 東京地区 538 電話 03-3942-6451(山口)
オフィスアワー	火曜日 17 時~
その他	
評価方法	1. 授業参加の積極性を評価する。、2. レポートあるいはテストの成績を評価する。、3. 学位論文中間発表会への参加状況 (終日参加) とそこでの発表ならびに質疑応答の内容を評価する (50%)

授業科目名	コミュニティスポーツプロモーション論特講
科目番号	01EK301
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 C 木 7,8
担当教員	柳沢 和雄
授業概要	我が国におけるコミュニティスポーツの歴史を概観し、現代社会におけるその重要な社会的役割を概説する。特に政策的に推進されている総合型地域スポーツクラブを取り上げ、その展開過程や経営課題を概観する。また、総合型地域スポーツクラブを題材にしながら、公共スポーツ施設の整備と経営の考え方、指導者養成をめぐる制度的課題、ボランティア論、スポーツと市民社会論などについて講義する。
備考	西暦偶数年度開講。
授業形態	講義
学習目標	市区町村におけるスポーツ推進策の経緯と地域スポーツ経営の考え方を理解するとともに、総合型地域スポーツクラブ育成政策を通してコミュニティスポーツのプロモーション課題について考える能力を養う。
テキスト	
参考図書	1) 柳沢和雄・紅葉スポーツ文化クラブ編:総合型地域スポーツクラブの発展と展望、不昧堂出版 2) 八代 勉・公共スポーツ文化クラブ編:コミュニティ・クラブと社会的ネットワーク、不昧堂出版 3) 松村和則:地域づくりとスポーツの社会学、道和書院 4) 関 春南:戦後日本のスポーツ政策、大修館書店
授業計画	授業内容 第 1 回コミュニティスポーツの収斂としての総合型地域スポーツクラブ 第 2 回同上 第 3 回総合型地域スポーツクラブを理解する 第 4 回同上 第 5 回コミュニティにおけるスポーツ空間と総合型地域スポーツクラブ 第 6 回同上 第 7 回スポーツプロモーションとスポーツ事業 第 8 回同上 第 9 回住民主導のスポーツプロモーションと社会システム 第 10 回同上
研究室	筑波地区 体育系棟 B604
オフィスアワー	火曜日 15 時~17 時
その他	
評価方法	授業における議論や発言内容、及びコミュニティスポーツプロモーションをめぐる課題やマネジメントに関するレポートなど総合的に評価する。

授業科目名	スポーツプロモーション法制論特講
科目番号	01EK302
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 B 水 7,8
担当教員	齋藤 健司
授業概要	スポーツ関連法制について概観し、スポーツプロモーションに向けたスポーツ法制度の構造や諸課題を具体的な事例を通じて講義する。アマチュアスポーツやスポーツ行政だけでなくプロスポーツやスポーツの経済的活動に関する法制度も解説する。
備考	西暦偶数年度開講。
授業形態	講義
学習目標	スポーツプロモーションに係る法制度全般を概説し検討する。また、今後のスポーツ立法政策について考える。
テキスト	
参考図書	1) 小笠原正 (監):導入対話によるスポーツ法学、不磨書房、2007 年 2) 千葉正士ほか 編:スポーツ法学入門、体育施設出版、2000 年
授業計画	授業内容 第 1 回スポーツ法の構造 第 2 回スポーツ基本法 第 3 回スポーツ権 第 4 回スポーツ国際法 第 5 回スポーツ著作権法 第 6 回スポーツ放送法 第 7 回スポーツ事故と法的責任 第 8 回スポーツ紛争解決とスポーツ仲裁 第 9 回プロスポーツめぐる法的問題 第 10 回スポーツと環境法
研究室	つくば地区 B602 電話 029-853-6364
オフィスアワー	金曜日 17 時 30 分~19 時 30 分
その他	
評価方法	出席、授業の状況、レポートによって評価する。

授業科目名	スポーツの倫理と教育
科目番号	01EK321
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春 C 水 7,8
担当教員	岡出 美則, 真田 久
授業概要	我が国のスポーツプロモーションにおけるスポーツの倫理について、ルールやエトス、フェアプレイなどをめぐって講義する。また我が国のスポーツ教育政策の歴史を概観し、スポーツ教育の諸課題について講義する。
備考	西暦奇数年度開講。
授業形態	講義
学習目標	我が国のスポーツプロモーションにおけるスポーツの倫理と教育の可能性について、歴史的変遷や諸外国との比較を通じて説明できる。また、我が国のスポーツ教育の政策の歴史を踏まえ、今後の課題について説明することができる。
テキスト	
参考図書	日本体育学会学校体育問題検討特別委員会 (監)(2002) 世界学校体育サミット. 杏林書院:東京 日本オリンピック・アカデミー編 (2008) ポケット版オリンピック事典. 株式会社楽
授業計画	<p>授業内容</p> <p>(キーワード)</p> <p>第 1 回スポーツと学校体育 (スポーツ振興法、スポーツ振興基本計画、スポーツ立国、身体の教育、身体を通しての教育、運動の中の教育) 担当:岡出 美則</p> <p>第 2 回学校教育の現状 (ベルリンアジェンダ、ベルリン宣言、ナショナルスタンダード) 担当:岡出 美則</p> <p>第 3 回学習指導要領の変遷 (中央教育審議会、保健体育審議会、国立教育政策研究所、学習指導要領) 担当:岡出 美則</p> <p>第 4 回体育教師の実践的指導力 (教員養成、現職教育、授業省察能力、知識構造、免許更新制) 担当:岡出 美則</p> <p>第 5 回体育教師の教授行動分析 (組織的観察法、期間記録、教師相互作用行動、熟練者と初任者・学生との比較) 担当:岡出 美則</p> <p>第 6 回体育教師ための授業評価システム 担当:岡出 美則</p> <p>第 7 回オリンピックの価値とは (IOC, オリンピック憲章、オリンピックバリュー、オリンピック国民運動) 担当:真田 久</p> <p>第 8 回東京オリンピックとオリンピック学習 (オリンピック学習読本) 担当:真田 久</p> <p>第 9 回長野オリンピックと一校一国運動 (One School One Country) 担当:真田 久</p> <p>第 10 回筑波大学附属学校におけるオリンピック教育・パラリンピック教育 (附属高校、オリンピック教育プラットフォーム、パラリンピックムーブメント) 担当:真田 久</p>

研究室	つくば地区 A501 電話 029-853-6349
オフィスアワー	月曜日 16時30分~17時30分
その他	
評価方法	授業で科する課題への取り組み並びにレポート

授業科目名	スポーツプロモーションとビジネス
科目番号	01EK322
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 C 木 7,8
担当教員	仲澤 眞, 嵯峨 寿
授業概要	スポーツプロモーションの視点から、プロスポーツの運営やスポーツメーカーのブランディングの事例を取り上げ、スポーツビジネスの現状と課題について講義する。
備考	西暦奇数年度開講。
授業形態	講義
学習目標	スポーツプロモーションに関連する産業やビジネスを概観し、ビジネスマネジメントの視点からスポーツやスポーツイベントの特徴について事例を通じて講義する。
テキスト	図解スポーツマネジメント、山下秋二ら、大修館書店、2005
参考図書	The Olympic Games Effect How Sports Marketing Builds Strong Brands, J. Davis, 2008 新マーケティング・コミュニケーション戦略論、亀井昭宏ら、日本広告研究所、2009 マーケティング原理 第9版 基礎理論から実践戦略まで、コトラーら、ダイヤモンド社、2003 オリンピックはなぜ、世界最大のイベントに成長したのか、M・ペイン、2008
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第1回 コミュニケーション論とプロモーション戦略 (コミュニケーション過程、プル戦略、プッシュ戦略) 担当: 仲澤 眞</p> <p>第2回 メディアの多様化とプロモーション戦略 (CGM、関係性マーケティング) 担当: 仲澤 眞</p> <p>第3回 プロサッカーにおけるプロモーション事例(1) (記号化、メッセージ、メディア・ミックス) 担当: 仲澤 眞</p> <p>第4回 プロサッカーにおけるプロモーション事例(2) (ジュビロ磐田、オピニオンボックス、CRM) 担当: 仲澤 眞</p> <p>第5回 プロ野球におけるプロモーション事例 (東京ヤクルト、女性観戦者、代替的消費) 担当: 仲澤 眞</p> <p>第6回 パブリックリレーション活動 (ロールモデル教育、パブリシティー戦略) 担当: 仲澤 眞</p> <p>第7回 スポーツ用品企業のスポーツプロモーション (cause-related marketing、cause promotion) 担当: 嵯峨 寿</p> <p>第8回 企業のオリンピックビジネス (商業主義、オリンピズム、スポンサーシップ) 担当: 嵯峨 寿</p> <p>第9回 企業の社会的責任とスポーツ (CSR、社会貢献、イノベーション) 担当: 嵯峨 寿</p> <p>第10回 2019 ラグビー W 杯のプロモーション戦略 (one for all、企業スポーツ、顧客創造) 担当: 嵯峨 寿</p>
研究室	つくば地区 電話 029-853-6375(仲澤) つくば地区 電話 029-853-2629(嵯峨)
オフィスアワー	
その他	
評価方法	出席、授業時のディスカッションへの対応、学期末のレポートから総合的に評価する。

授業科目名	トップアスリートのトレーニング
科目番号	01EK323
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 C 金 7,8
担当教員	白木 仁, 関子 浩二, 阿江 通良
授業概要	トップアスリートの競技力向上のためのトレーニング及びバイオメカニクスを学ぶ。ジュニア期のトレーニング, 年間計画, 身体運動におけるバイオメカニクスの目的, 活用法などについて考える。この講義は前半をトレーニング論 (6), 後半 (4) をバイオメカニクス論とし, それぞれ別の先生が担当する。
備考	
授業形態	講義
学習目標	トップアスリートが競技力を向上するためのトレーニング内容やバイオメカニクスの活用方法について学ぶ
テキスト	
参考図書	
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回 トップアスリートのトレーニングの現状 (反復練習、ストレングストレーニング) 担当:白木 仁</p> <p>第 2 回 トップアスリートのトレーニングに関わるスタッフ (アスレティックトレーナー、コンディショニングコーチ) 担当:白木 仁</p> <p>第 3 回 トレーニング学の理論とその方法論 (パフォーマンス構造論、目標論、手段・方法論、計画論、実践論、アセスメント論) 担当:関子 浩二</p> <p>第 4 回 # 担当:関子 浩二</p> <p>第 5 回 スポーツをバイオメカニクスの基礎知識、手法、データの解釈方法について解説する。 (Kinematics、kinetics、スポーツバイオメカニクス研究法) 担当:阿江 通良</p> <p>第 6 回 # 担当:阿江 通良</p> <p>第 7 回 スポーツバイオメカニクスからみたスポーツ技術のとらえ方、技術に関する研究、データのフィードバックについて解説する。 (スポーツ技術、動作の最適化ループ、トップアスリート、国際競技会、データフィードバック) 担当:阿江 通良</p> <p>第 8 回 # 担当:阿江 通良</p> <p>第 9 回 競技力向上のためのトレーニングの考え方 (スキルトレーニング、コンディショニング) 担当:白木 仁</p> <p>第 10 回 競技力向上のためのトレーニング方法 (コーディネーショントレーニング) 担当:白木 仁</p>
研究室	つくば地区 D621 電話 029-853-2667
オフィスアワー	
その他	
評価方法	出席・参加意欲 (50%), レポート (50%)

授業科目名	トップコーチング
科目番号	01EK324
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 C 火 7,8
担当教員	河合 季信, 岡田 弘隆, 谷川 聡, ネメシュ ローランド ヤーノシュ
授業概要	オリンピックやワールドカップなどでアスリートが高いパフォーマンスを発揮するためのコーチングの理論と実際を学ぶ。世界の強豪国・地域の視点、競技特性の視点、世界の動向など、さまざまな観点から、トップレベルのコーチに求められる役割や資質について考える。この講義は数名の教員がそれぞれの専門分野からオムニバス形式で担当する。
備考	
授業形態	講義
学習目標	世界のトップをめざした競技力向上のフレーム(枠組み)を理解し、そこで重要な役割を果たすコーチに必要な資質やスキルを学ぶ。
テキスト	特になし
参考図書	講義内で各担当者から紹介
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回ガイダンス/世界のトップスポーツの動向とコーチの役割 担当:河合 季信 第 2 回 # 担当:河合 季信 第 3 回未定 第 4 回 # 第 5 回北米におけるトップコーチング~個人記録系スポーツの事例 担当:谷川 聡 第 6 回 # 担当:谷川 聡 第 7 回欧州におけるトップコーチング~団体球技系スポーツの事例 担当:ネメシュ ローランド ヤーノシュ 第 8 回 # 担当:ネメシュ ローランド ヤーノシュ 第 9 回日本におけるトップコーチング~個人格闘系スポーツの事例 担当:岡田 弘隆 第 10 回 # 担当:岡田 弘隆</p>
研究室	つくば地区 B316 電話:029-853-2646 E-mail:kawai@taiiku.tsukuba.ac.jp
オフィスアワー	
その他	
評価方法	総合的に評価する

授業科目名	生涯スポーツのトータルマネジメント
科目番号	01EK325
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春 C 木 7,8
担当教員	坂本 昭裕, 本谷 聡, 寺山 由美, 平山 素子, 澤江 幸則
授業概要	競技スポーツとは異なる目的、側面を持つ野外教育・スポーツ、舞踊、体操などの歴史や教育的側面を踏まえた最新のコーチングやマネジメントについて学ぶ。また、障害者スポーツについての現状と課題を検証し、理解を深める。数名の先生がリレー講義形式で担当する。
備考	
授業形態	講義
学習目標	競技スポーツとは異なる目的、側面を持つ身体運動・スポーツのマネジメントについて理解を深めること。
テキスト	特になし
参考図書	各教員が必要に応じて紹介する。
授業計画	<p>授業内容 (キーワード)</p> <p>第 1 回 1・2 回目 不登校児や発達障害児、非行少年などの野外教育プログラムのマネジメントを取り上げる。 (キャンプ 冒険教育プログラム 心のマネジメント) 担当:坂本 昭裕</p> <p>第 2 回 3・4 回目 体操についての国内外の映像や資料を題材として、これからの体操のあり方について検討する。 (体操, 体づくり運動, 動きづくり, 体づくり) 担当:本谷 聡</p> <p>第 3 回 5・6 回目 30 代から 80 代における生涯スポーツでのダンスの実態を取り上げ、指導者と参加者がどのような点に留意して活動を進めているか検討する。 担当:寺山 由美</p> <p>第 4 回 7・8 回目 ダンスの多様性と歴史を紹介し、身体発のコミュニケーション方法を様々な角度から検証する。 担当:平山 素子</p> <p>第 5 回 9・10 回目 障害のある人や子どものスポーツ実践の可能性を示すとともに、その実践を支えるための方法論について、アダプテッド・スポーツの観点から検討する。 (アダプテッド・スポーツ 日常化・社会化 障害観) 担当:澤江 幸則</p>
研究室	つくば地区 A404 電話 029-853-6361
オフィスアワー	月曜日 15 時 ~ 16 時半 (5 限時)
その他	
評価方法	レポート, 授業への貢献度 (出席, 発言など) から総合的に評価する。